

建設中の大島コミュニティプラザで、現場責任者から説明を受ける市議団。17日。



杉本議員団長が総括質疑

新市財政計画を無視した財政運営追及 シニアパスポート、要援護世帯除雪費補助で前進

杉本敏宏議員団長が予算議会総括質疑に立ちました。テーマは新市財政計画と新年度予算、行政組織改革、過疎対策などでした。

新市建設計画をまとめた冊子を手に登壇した杉本議員、最初に取り上げたのは、財政問題でした。

28億円にのぼる財政調整基金を取り崩し、新市財政計画を60億近く上回る新年度一般会計予算編成をしたことについて同議員は、「合併一年目から、こうした編成をするようでは財政破綻につながりかねない」と厳しく追及しました。

木浦市長の答弁では、いざという時のために蓄えておく必要がある財政調整基金を大幅に取り崩したことについての反省の言葉はありませんでした。また、「その時々々の経済情勢などによって、各年度の実行予算と財政計画の乖離（かいり）はありうるこ

豪雪対策などで調査

やはり調査をしてみるもんです。19年ぶりの豪雪となった大島区、安塚区などでの調査で、合併協議でまとまった対応だけでは住民の暮らしは守れないことが判明しました。

大島区以外の区ではコミュニティプラザ整備予算が先送りされましたが、住民の声をもっと聞いて計画を充実させることは大切です。しかし早急に整備着手をという声も……。



豪雪調査で出会ったお年寄り。とてもやさしいおばあさんでした。大島区で、17日。

と」と強弁し、新市財政計画を大きく上回る予算編成を当然視しました。財政破綻の心配がないなら、少なくとも長期財政計画の修正したものを示すべきです。

市民の暮らしを守るうえで前向きな答弁もありました。一つはシニアパスポートの対象施設拡大です。半額措置によって減収となる部分に対しては、必要に応じて委託料に含めるなどの措置をとり、対象施設を拡大するとの答弁が出ました。もう一つは、要援護世帯除雪費補助に関してです。一世帯あたり、8200円×5人分の除雪費補助では足りないところがあるとの指摘に対して、柔軟に対応すると木浦市長は約束しました。

日本共産党上越市議団ニュース

NO2 2005年3月6日
連絡先 杉本敏宏 524-3787 (東本町5)
樋口良子 544-6802 (中門前3)
橋爪法一 548-3628 (吉川区)

杉本市議と橋爪市議がホームページを開設しています。杉本敏宏、橋爪法一で検索してみてください。日々の活動日誌もごらんいただけます。